

# 国文論藻

第十二号

京都女子大学大学院  

---

文学研究科研究紀要

2013年

京都女子大学

# 目次

京都女子大学図書館所蔵『紫明抄』残卷(下)	柴田清子	中前正志	1
京都女子大学図書館所蔵『方丈記』元和三年写本	中前正志	中前正志	29
翻刻 近衛信尋自筆『新一人三臣和歌』	大谷俊太	大谷俊太	57
京都女子大学図書館蔵谷山文庫本 『古今涇渭鈔』所載差声語索引稿	西崎亨	西崎亨	(01)

## 『国文論藻』投稿規定

## 1、〔投稿資格〕

- ① 京都女子大学文学部国文学科大学院担当教員。
- ② 京都女子大学大学院（国文学専攻）所属学生および大学院を修了・退学した者。

③ 上記以外の者で、編集委員会の認めたる者。

## 2、〔刊行回数・時期・投稿の締め切り〕

① 毎年1回。3月に刊行する。

② 9月20日を投稿の締め切りとする。

## 3、〔投稿の枚数〕

① 400字詰原稿用紙50枚（20,000字）を目安とする。

② 完成原稿であること。

## 4、〔投稿に際しての注意事項〕

① 原稿並びにコピー1部の合計2部を提出すること。

② 800字程度の要旨2部を添えること。

③ 連絡先の住所、電話番号・メールアドレス等を記した別紙を添えること。（採否の連絡・校正原稿送付等のため）

## 5、〔投稿先〕

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

京都女子大学大学院文学研究科国文学専攻

6、〔投稿論文の採否〕  
『国文論藻』編集委員会 宛

投稿論文は、編集委員会委員、或いは関連分野の学内・学外研究者の査読の結果を経て、編集委員会において採否の決定を行う。

## 7、〔校正〕

校正は再校までとし、校正段階における大幅な修正は認めない。

## 8、〔本誌・抜き刷りの贈呈〕

掲載された原稿の執筆者には、掲載誌5部と、抜き刷り30部を進呈する。

## 9、〔掲載論文の電子媒体による公開〕

掲載された論文等は、電子媒体によっても公開する。

以上の規定は2012年7月4日の編集委員会における申し合わせによる。本規定は2012年度より適用する。



平成24年度『国文論藻』編集委員

大谷 俊太、工藤 哲夫、新聞 一美、田上 稔、

中前 正志、西崎 亨、山崎 ゆみ

「国文論藻」 京都女子大学大学院  
文学研究科研究紀要

第十二号

二〇一三年（平成二五年）三月一五日発行

編 集 京都女子大学大学院文学研究科  
国文学専攻（博士後期課程）

発 行 京都女子大学

〒605-8501

京都市東山区今熊野北日吉町三五

電話 〇七五―五三一―七〇五一（代表）

印刷・製本 株式会社 同朋舎

〒601-8805

京都市下京区中堂寺鍵田町二

電話 〇七五―三六一―九一二一